

11月の 園便り



「こぎっね コン4」

26年 新潟青陵幼稚園 加藤 由美子

ある日のこと、太郎君、次郎君、三郎君がブロックを使って基地ごっこをしていました。あとから登園してきた五郎君は別の場所で一人でブロックで遊びながら、3人の様子をチラチラ見ていました。次郎君が巧技台を取りに行き、自分たちの所に運び込みました。五郎君はそれを見ると巧技台を押して3人のところに持っていきました。そしてすぐに自分の所に戻って自分の遊びをしていました。(アピールしていますね)

しばらくすると、五郎君は3人のところへ行って、テレビ「〇〇〇〇〇」の話を始めました。その話に次郎君三郎君が乗りました、しかし、太郎君が「おい、出発だぞ」と言うと二人は基地ごっこに戻り、五郎君もまた自分の遊びに戻りました。それからしばらくすると、五郎君はもう一度3人のところへいきテレビの話をしました、すると次郎君三郎君がその話に応じて、テレビの話が始まりました。しかし、そこで太郎君が「この基地、もっと大きくしたい」といいました。五郎君はチャンスとばかりに「あっちとこっち、くっつけばいいじゃん」と自分が作っていた場所を指さしました。三郎君が「そうだね」と言って、みんなで五郎君が使っていたブロックを運び始めて、みごと五郎君も基地ごっこに加わりました、基地ごっこに入りたくて、相手の状況を見ながら考え試行錯誤してみごと遊びに入ることができた五郎君です。遊びに入るために手を尽くしている子どもたち、この生きる力があればどんなところに行っても大丈夫ですね。こうして五郎君も遊びに入ってますます遊びは発展した・・・はずでした、ところが・・・ここで基地ごっこは消えてしまったのです！！

なぜ消えてしまったのかと申しますと、テレビの話が続いてしまったのです。

「オレ知ってる」「オレも見た」・・・とまるで、オバサンたちの井戸端会議みたいにおしゃべりが続いてしまったのです。太郎君は基地ごっこの世界を続けたかったのです。ですから「出発だぞ」と言って、友だちを想像の世界に引き戻しています。「もっと大きくしたい」と言ったのも、本当は、想像の世界に引き戻したかったからなのです、でも、テレビには勝てなかった・・・基地ごっこは、「〇〇〇〇〇」に持っていかれてしまいました。あ～残念・・・消えてしまった想像の世界・・・子どもたちの想像の世界は素晴らしくて面白い遊び・面白い世界をどんどん創りだします。こういう遊びを経験して育った子どもたちは大人になっても、想像力・創造性に富んだ伸びやかな思考力を持った大人になることでしょうね、だからこそ、遊びの世界が中断してしまうのは“もったいな～い”と思うのです。テレビの影響はとて大きいですね。

11月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	土	×	11:30	自由登園日	
2	日	/	/		
3	月	/	/	文化の日	
4	火	○	2:00		
5	水	×	11:30	来年度新入園児さんの保護者会のため、早いお帰りで。	
6	木	○	2:00		
7	金	○	2:00		
8	土	/	/		
9	日	/	/		
10	月	○	2:00		
11	火	○	2:00		
12	水	○	2:00	父母の会主催講演会が行われます。	
13	木	○	2:00		
14	金	○	2:00		
15	土	×	11:30	自由登園日	
16	日	/	/		
17	月	○	2:00		
18	火	○	2:00		
19	水	×	11:30	誕生会です、11月生まれの保護者の皆様と一緒に祝いましょう。	
20	木	×	11:30	研修会のため午前保育です、ご迷惑をお掛けいたしますがよろしくお願いいたします	
21	金	○	2:00		
22	土	/	/	第4土曜日	
23	日	/	/	勤労感謝の日	
24	月	/	/	振替休日	
25	火	○	2:00		
26	水	○	2:00		
27	木	○	2:00		
28	金	○	2:00		
29	土	×	11:30	自由登園日	
30	日	/	/		